

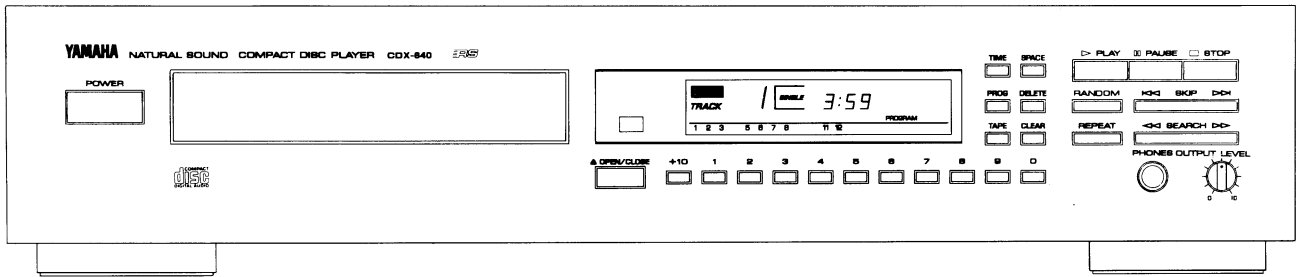
# YAMAHA

## NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

# CDX-640

### 取扱説明書

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO



このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤーCDX-640をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-640の優れた性能を充分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前にぜひお読み下さいますよう、お願い致します。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

CDは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

## 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

## 保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

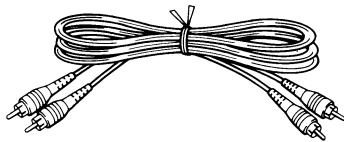
## 目次

ご使用前に .....	2
豊かなオーディオライフのために .....	2
特長 .....	2
接続のしかた .....	3
各部の名称とはたらき .....	4
基本的な演奏	
1曲目から聞きたいときは .....	6
好きな曲から聞きたいときは .....	7
曲を順不同に聞きたいときは .....	7
いろいろな演奏	
曲を飛ばして聞きたいときは .....	8
好きな曲を好きな順に聞きたいときは .....	9
インデックスから聞きたいときは .....	10
繰り返して聞きたいときは .....	11
タイマー演奏のしかた .....	11
テープ録音	
本機が自動選曲して録音するときは .....	12
自分で選曲して録音するときは .....	13
オートスペースについて .....	13
コンパクトディスクの取り扱いについて .....	14
リモコンについて .....	14
故障かなと思ったら .....	15
参考仕様 .....	15
ヤマハホットラインサービスネットワーク .....	16

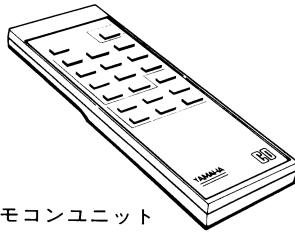
ご使用前に必ずお読みください。

# ご使用前に

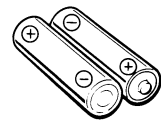
■付属品を確認してください。



出力コード (2P ピンプラグコード)



リモコンユニット



単4乾電池 (SUM-4) 2本

## 豊かなオーディオライフのために (使用上のご注意)

### ■電 源

国内のみでご使用ください。

家庭用電源コンセント (AC 100 V) に接続してください。

※上記以外の使用は動作不良や故障の原因になります。

### ■電源コード

電源コードをひっぱらないでください。(プラグを持って抜いてください)

電源コードの上に重い物をのせないでください。

※電源コードが断線したり、感電の原因になります。

### ■本 体

キャビネットは開けないでください。

本体内に金属類 (針・硬貨など) を落とさないでください。

本体内に液体 (水・アルコールなど) をこぼさないでください。

本体内にもえやすい物 (紙・布など) を落とさないでください。

※火災・感電・故障の原因になります。

### ■設置場所

ぐらついた台の上や、傾いた所には置かないでください。

※落ちたり倒れたりすると危険です。

湿気の多い所、ほこりの多い所

直射日光のあたる所、熱の発生するアンプの上など温度の高い所

極端に寒い所などには置かないで下さい。

※動作不良や故障の原因になります。

### ■雑 音

本機を再生中はチューナーから雑音が出たり、テレビの画面が乱れたりすることがあります。そのようなときは、それらの機器と本機の距離を離すか、チューナーやテレビのアンテナを専用の屋外アンテナに変えてください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源スイッチを切ってください。

### ■結 露

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置してある部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。

露がついたままでは信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1~2時間そのままに放置してからご使用ください。結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

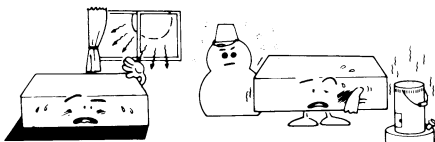
### ■長期間

旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

※不慮の事故で火災の原因になります。

### 高温・低温はさけて!

窓際や直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなど極端に暑い場所 (周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所 (周囲温度-5℃以下) は、さけてください。



### セットの放熱を妨げない

放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には設置しないでください。

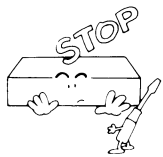


### ほこり・水気をさけて!

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

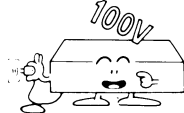


### 開けないで!



### 国内のみ使用可

家庭用電源コンセント  
AC100V



### こわれた?



15ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

### 薬物厳禁

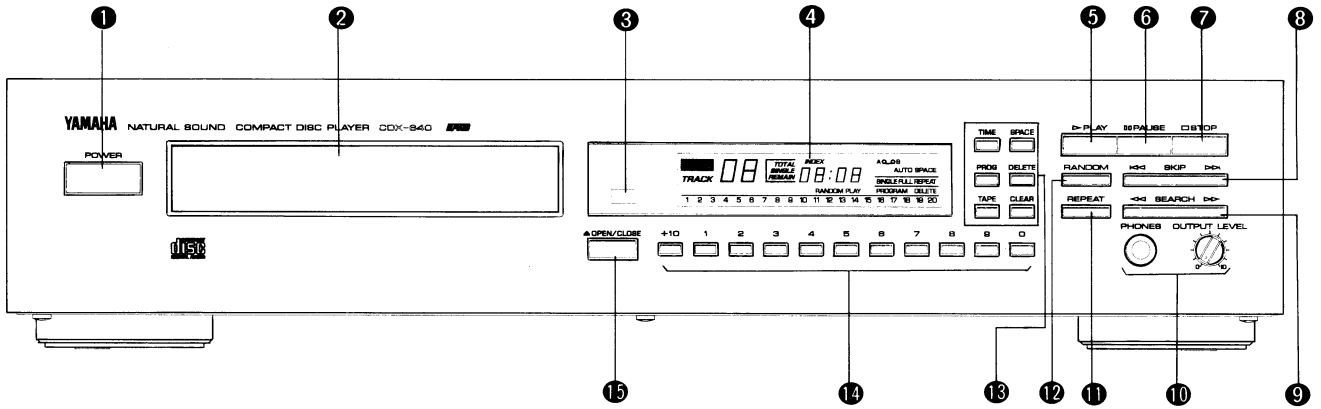
ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。



## 特 長

- ヤマハ1 bit DAC使用による高音質設計
- アナログ音声出力2系統、デジタル音声出力1系統を装備
- テープ録音に便利なテーププログラム機能
- リモコンを装備

# 各部の名称とはたらき

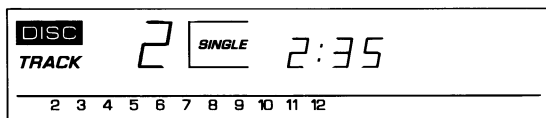


- ① <sup>パワー</sup> POWER スイッチ  
押しと電源が入り、もう一度押しと切れます。
  - ② ディスクトレイ  
ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSE を押しと開き、もう一度押しと閉まります。  
ディスクトレイは手で軽く押ししても、PLAYやPAUSE、RANDOM または10キー（+10、1～9）を押ししても閉じることができます。
  - ③ リモコン受光窓  
付属のリモコンからの信号を受光する窓です。
  - ④ ディスプレイ  
5 ページ参照。
  - ⑤ <sup>プレイ</sup> PLAY  
押しと演奏がスタートします。
  - ⑥ <sup>ポーズ</sup> PAUSE  
演奏中にこのキーを押しますとその箇所までポーズ（一時停止）します。  
また、テープマニュアルプログラム入力中に TAPE A 面から TAPE B 面に切り替えるときにもこのキーを押しします。
  - ⑦ <sup>ストップ</sup> STOP  
押しと演奏が停止します。
  - ⑧ <sup>スキップ</sup> SKIP (◀▶)  
演奏中またはポーズ中に前後の曲の頭出しをするキーです。  
プログラムの設定中またはチェック中はプログラム番号を呼び出すことができます。
  - ⑨ <sup>サーチ</sup> SEARCH  
演奏中またはポーズ中に早送りや早戻しをするキーです。  
押し続けると高速で早送りまたは早戻しします。
  - ⑩ <sup>ホーン アウトプット レベル</sup> PHONES ジャック、OUTPUT LEVEL コントロール  
ヘッドホンをこのジャックに接続しますと、本機から直接演奏を聞くことができます。  
ツマミを右に回しますとヘッドホンの音量とリアパネルの LINE OUT VARIABLE 端子の出力が大きくなり、左に回しますと小さくなります。
  - ⑪ <sup>リピート</sup> REPEAT  
リピート（繰り返し）演奏をするときに押しします。
  - ⑫ <sup>ランダム</sup> RANDOM  
ランダム演奏をするときや、テープランダムプログラムの自動設定をするキーです。
  - ⑬ <sup>タイム</sup> TIME  
このキーを押す度に表示内容が切り換わります。
- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| <sup>シングル</sup> SINGLE                        | 演奏中の曲の経過時間                        |
| <sup>シングル</sup> SINGLE <sup>リメイン</sup> REMAIN | 演奏中の曲の残り時間                        |
| <sup>トータル</sup> TOTAL                         | ディスク(プログラム)の総演奏時間                 |
| <sup>トータル</sup> TOTAL <sup>リメイン</sup> REMAIN  | ディスク(プログラム)の演奏残り時間                |
| <sup>スペース</sup> SPACE                         | 曲間に 4 秒間のスペースを入れます。               |
| <sup>プログラム</sup> PROG                         | プログラム演奏の設定やチェックするときに使います。         |
| <sup>デリート</sup> DELETE                        | デリートプログラムやテープオートプログラムの設定のときに使います。 |
| <sup>テープ</sup> TAPE                           | テープ録音するときに使います。                   |
| <sup>クリア</sup> CLEAR                          | プログラムを解除するときに使います。                |

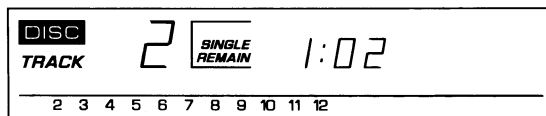
## ディスプレイについて

[TIME] を押しごとに、表示内容が切り換わります。

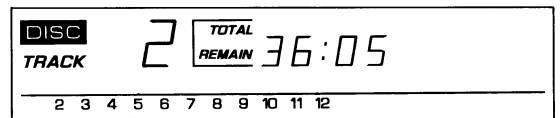
SINGLE 例 2 曲目を演奏中、2 分35秒経過



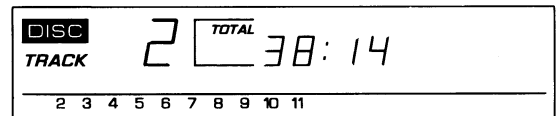
SINGLE REMAIN 例 2 曲目の演奏終了まで、あと 1 分 2 秒



TOTAL REMAIN 例 2 曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の総演奏残り時間は36分05秒



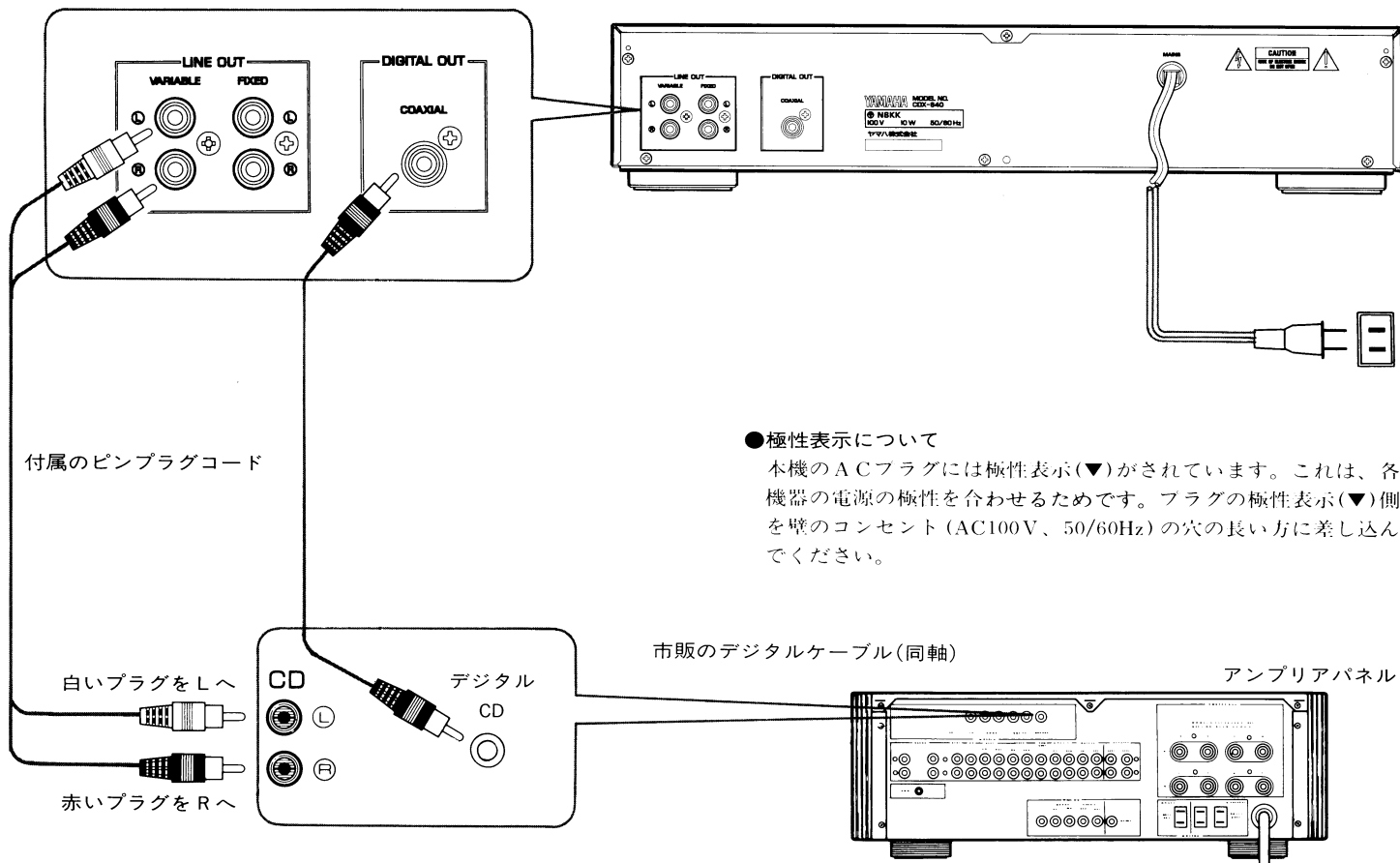
TOTAL 例 2 曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の総演奏時間は38分14秒



# 接続のしかた

●接続の際は各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して正しく接続してください。

●接続する機器によっては、端子名などが異なることがあります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。



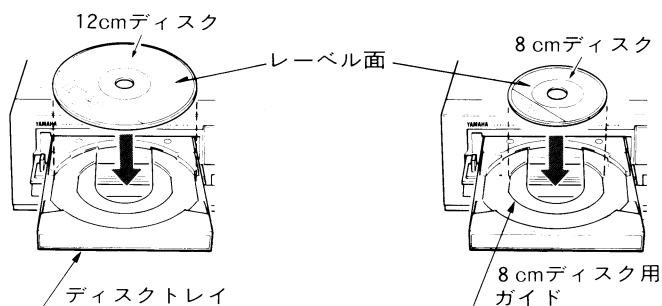
●極性表示について  
本機のACプラグには極性表示(▼)がされています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。プラグの極性表示(▼)側を壁のコンセント(AC100V、50/60Hz)の穴の長い方に差し込んでください。

## ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ず文字の書かれているレーベル面を上にしてディスクトレイの中央に正しくセットしてください。(8 cm ディスクは8 cm ディスク用ガイドの中にセットします)

- ・コンパクトディスクの演奏は片面のみです。
- ・ディスクトレイにセットできるディスクは1枚だけです。複数のディスクをセットしますと、故障の原因となります。

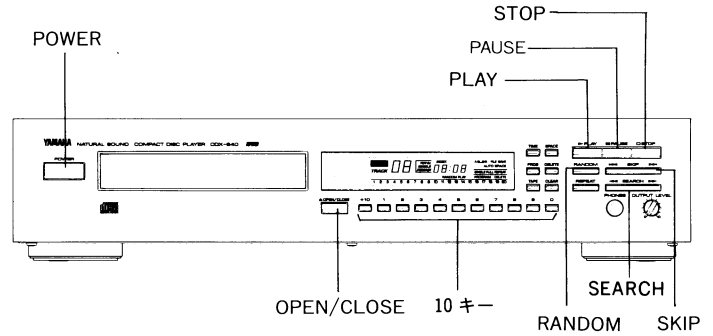
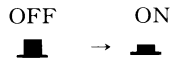
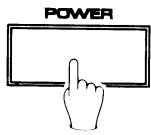
- ・市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



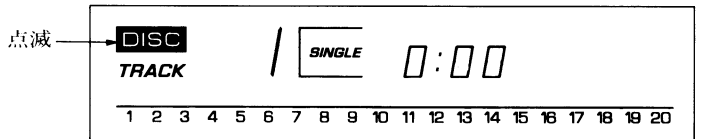
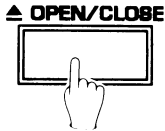
# 基本的な演奏

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。  
本取扱説明書では 12 曲収録のディスクを例に説明しております。

1 **POWER** を押し電源を入れます。



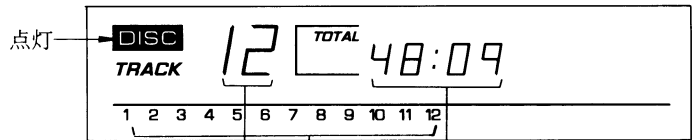
2 **OPEN/CLOSE** を押します。  
ディスクトレイが開きます。



3 ディスクをセットします。  
(3 ページ ディスクのセット参照)

4 **OPEN/CLOSE** を押します。  
ディスクトレイが閉まります。

ディスクのセットが完了しました。  
※[PLAY], [RANDOM], [10キー] またはディスクトレイを軽く  
手で押してもトレイが閉じて、自動的に演奏がスタート。  
その場合は総曲数、総演奏時間を表示しません。



5 演奏のメニューを選びます。

1 曲目から聞きたいときは  
(プレイ)

**A**

好きな曲から聞きたいときは  
(選曲プレイ)

**B**

曲を順不同に聞きたいときは  
(ランダムプレイ)

**C**

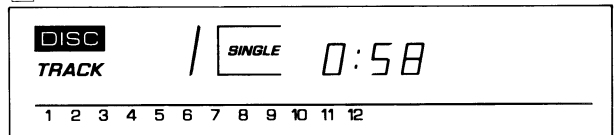
収録曲のミュージックカレンダーが点灯

## **A** 1 曲目から聞きたいときは

1 **PLAY** を押します。  
演奏がスタート



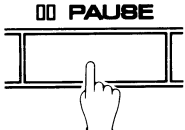
例 1 曲目の演奏開始後58秒経過



全ての曲の演奏が終わると自動的にストップ状態 (1 曲目の頭で  
待機) になります。

### 演奏の一時停止

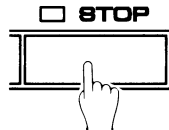
**PAUSE** を押します。  
押したところで一時停止します。



再び演奏をする時は  
**PAUSE** または **PLAY**  
を押します。

### 演奏の停止

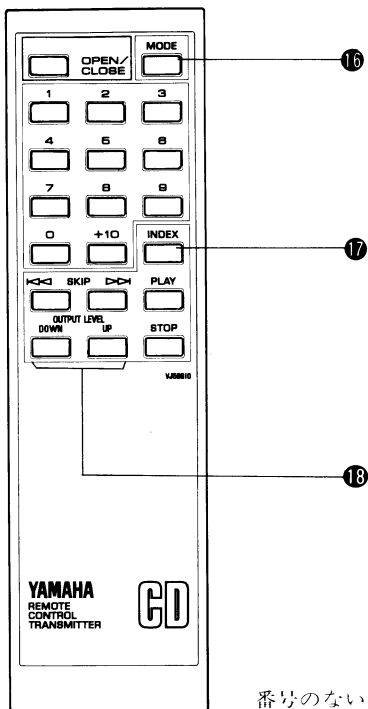
**STOP** を押します。



### 早送り・早戻し

※ 押し続けると高速で早送り・早戻しします。

	◀◀	▶▶
演奏時	音出し早戻し	音出し早送り
ポーズ時	音無し早戻し	音無し早送り



番号のないキーは本体と同じ働きをします。

14 10 キー (+10, 1~0)

選曲やプログラムの設定時に曲番を指定します。またテーププログラム演奏の設定時にテープのサイズ(長さ)をインプットするキーです。

15 オープン クローズ  
OPEN/CLOSE

ディスクトレイを開閉させるキーです。

16 モード  
MODE [R]

LCDディスプレイの表示モードを、  
全灯 → INDEX → TRACK、時間表示のみ  
に切り換えます。

17 インデックス  
INDEX [R]

インデックスを呼び出すときに押します。

18 アウトプット アップ ダウン  
OUTPUT UP DOWN

本体のOUTPUT LEVELコントロールと同じはたらきをします。  
UPを押すと音量が大きくなり、DOWNを押すと小さくなります。

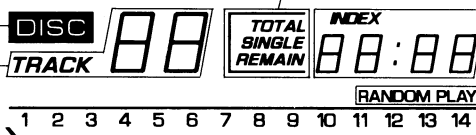
## ディスプレイ

### DISC インジケータ

ディスクトレイ内にディスクが正しくセットされているときは点灯し、ディスクが無いまたは裏返しなど正しくセットされていないときは点滅したのち、消灯します。

### TOTAL/SINGLE/REMAIN インジケータ

TIMEを押すごとに時間表示の内容が変わります。



### TRACK (曲番) インジケータ

演奏時やプログラム時に曲番を表示します。  
ディスクをセットしてOPEN/CLOSEでディスクトレイを閉じると、約3秒間、そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

### ミュージックカレンダー

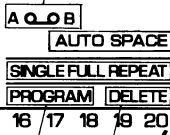
ディスクに収録されている曲番などを点灯表示します。

### 88:88 インジケータ

演奏時間、プログラムナンバー、インデックスナンバー、テープサイズを表示します。

### テープインジケータ

テープ録音するときにこのインジケータを点灯させます。(12, 13 ページ)



### オートスペースインジケータ

SPACE キーを押すと点灯します。曲間に4秒間のスペースが挿入されます。

### リピートインジケータ

リピート演奏の種類が SINGLE (1曲) リピート、FULL (全曲) リピートかを表示します。

### デリートインジケータ

デリートプログラムの設定時や演奏中に点灯します。

### プログラムインジケータ

プログラムの設定時や演奏中に点灯します。

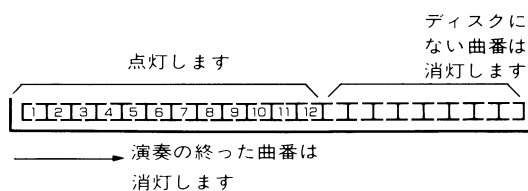
### ランダムプレイインジケータ

ランダム演奏中に点灯します。

## ミュージックカレンダーについて

本機は演奏状況やプログラムの設定状況を一目で把握することができる、便利なミュージックカレンダーを装備しています。ディスクをセットしますと、ディスクに収録されている曲番が点灯し、演奏を終えた曲番は順次消灯します。またプログラムの選曲時は、プログラムされた曲の曲番が点灯または消灯しますので、設定ミスを防ぐことができます。

例) 12曲収録のディスクをセットした場合

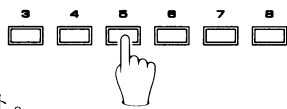


**B****好きな曲から聞きたいときは** (ダイレクト選曲、スキップ選曲)**ダイレクト選曲**

10 キー (+10, 1~0) を押して曲番を選びます。

例) 曲番 5 曲目を選ぶとき

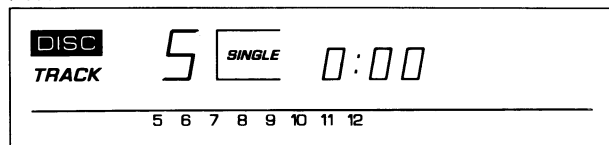
**5** を押します。



5 曲目から自動的に演奏がスタート。

- ※演奏中に、他の曲番を押すと、その曲を演奏します。
- ※ディスクに収録された曲数より大きな曲番を指定すると、最終曲番を演奏します。
- ※ポーズ中に選曲した場合は選曲された曲の頭でポーズ状態となります。

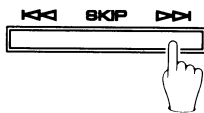
曲番 5 曲目を選んだときのディスプレイ

**スキップ選曲**

**SKIP** (⏮️、⏭️) を押して、聞きたい曲を選びます。

例) 曲番 3 曲目を演奏するとき。

1 **SKIP** (⏭️) を 2 回押します。

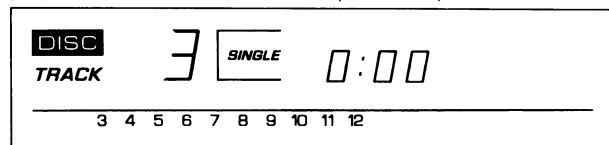


2 **PLAY** を押します。

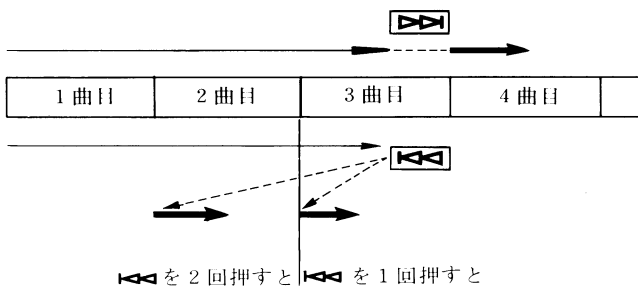
3 曲目から演奏がスタート。

- ※ ⏭️ ... 押すごとに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続して進み、最終曲の頭までスキップします。
- ※ ⏮️ ... 1 回押すとその曲の頭に戻ります。1 秒以内にもう一度押すと前の曲の頭に戻ります。押し続けると連続して戻り曲番 1 の頭までスキップします。
- 演奏中にスキップ選曲しますと、選曲された曲の演奏が自動的にスタートします。ポーズ状態またはストップ状態でスキップ選曲したときは **PLAY** を押して演奏を始めます。

曲番 3 曲目を選んだときのディスプレイ



⏭️ を押すごとに次の曲の頭に移ります。

**C****曲を順不同に聞きたいときは** (ランダムプレイ)

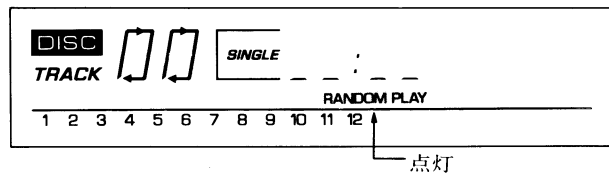
**RANDOM** を押します。

ディスプレイの曲番インジケーターが回転したあと本機がディスクの曲を順不同に演奏を始めます。

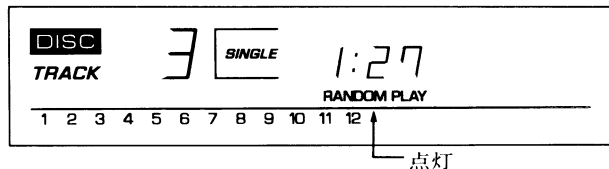
**ランダム演奏の解除**

- もう一度 **RANDOM** を押します。または、**STOP** を押します。
- ※ランダム演奏中はインデックス演奏はできません。
- ※ランダム演奏中に **[SKIP ⏭️]** を押しますと、演奏の終わっていない別の曲を選曲し、演奏します。また **[SKIP ⏮️]** を押しますと、演奏中の曲の頭に戻り再びその曲を演奏します。

ランダム選曲中



ランダムプレイで曲番 3 曲目が演奏中

**10 キー (+10, 1~0) の操作について**

+10 の使いかた

曲番 10 以上の曲を選曲する場合には、**[+10]** を押しますと、1\_ と表示がでます。その後に 1 の位のキーを入力します。

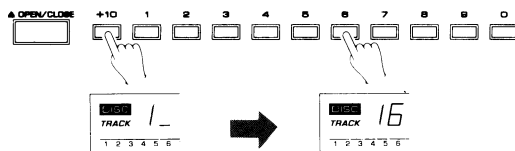
※曲番のセットの時は **[+10]** を押すごとに 1\_、2\_ と変わりますが、セットされたディスクに収録されていない 2 桁は表示せずに 0\_ に戻ります。

※ **[+10]** を押すと次に 1 の位が入力されるまで、約 4 秒間の入力待ちとなります。1 の位が入力されないまま約 4 秒間経過すると、自動的に 1 の位を "0" として演奏を開始します。

例) 曲番 16 を選曲する場合

1 **+10** を押します。

2 **6** を押します。



# いろいろな演奏-1

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。  
本取扱説明書では 12曲収録のディスクを例に説明しております。

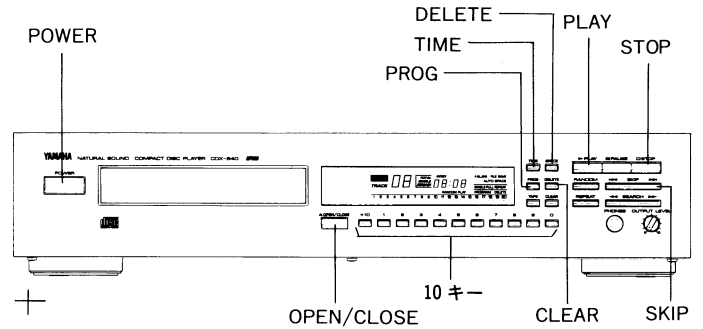
1 **POWER** を押して電源を入れ、ディスクをセットします。

2 演奏のメニューを選びます。

曲を飛ばして聞きたいときは  
(デリートプログラム)



好きな曲を好きな順に聞きたいときは  
(マニュアルプログラム)



## D 曲を飛ばして聞きたいときは (デリートプログラム)

1 **STOP** を押します。

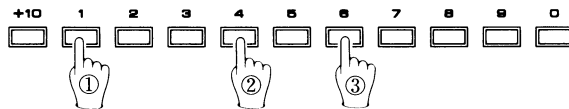
2 **DELETE** を押します。

※ P-01 表示しない場合は  
[TIME] を押して表示させます。



3 演奏しない曲を 10 キー (+10, 1~0) で指定します。  
例) この場合は "1" "4" "6" です。

10 キーで **1**、**4**、**6** を押します。

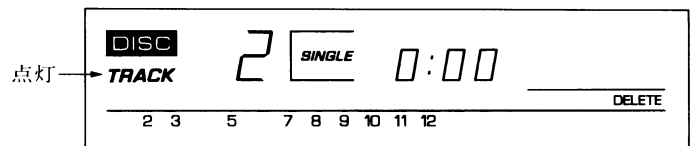
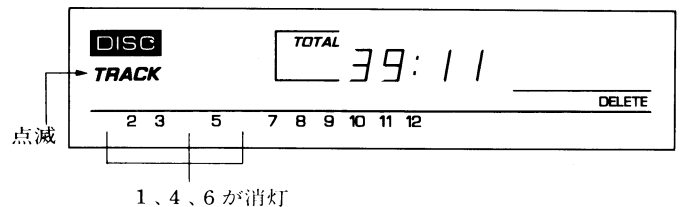
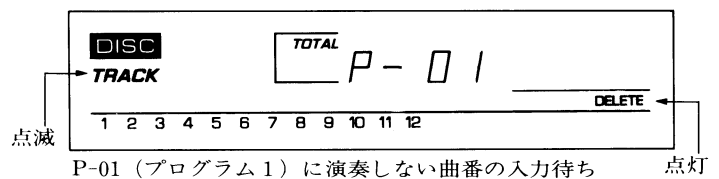


指定することによって演奏しない曲をのぞいた総演奏時間を表示して、次の曲番の入力待ちになります。

4 **PLAY** を押します。

この場合、曲番 2 から演奏がスタートします。

- SKIP (⏮、⏭) を押すと  
※ ⏭ …… 押すごとに次のプログラム曲の頭に移ります。  
⏮ …… 押すごとに前のプログラム曲の頭に移ります。
- デリートプログラム演奏中に 10 キーで他の曲番を指定しますと、指定した曲番の演奏に変わります。その曲番の演奏が終わりますと、その曲番以降のデリート演奏に戻ります。SKIP (⏭) を押すと、デリートプログラムされた曲の中で、次の曲に進んだり、前の曲に戻ります。



プログラム NO 表示 (P-) が --:-- から 0:00 の時間表示になり、曲番 2 曲目から演奏がスタート

## プログラムのチェック

1 **STOP** を押します。

2 **PROG** を押します。

※ デリートプログラムの場合は **DELETE** を押します。  
プログラムの 1 (P-01) と曲番を表示。

3 **SKIP** (⏭) を押します。P-02 から順にプログラムされた曲順を表示します。SKIP (⏮) を押すと、プログラムの曲順を逆に表示。

## プログラムの解除

1 **STOP** を押します。

2 **CLEAR** を押します。

ディスプレイの "PROGRAM" や "DELETE" または "A○○B" が消灯し、プログラムが解除。



**E****好きな曲を好きな順に聞きたいときは (マニュアルプログラム)**

1 **STOP** を押します。

2 **PROG** を押します。

※ P-01 表示をしない場合は **[TIME]** を押して表示させます。



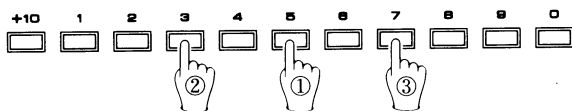
3 演奏したい曲を 10 キー (+10, 1~0) で選びます。

例) この場合は “5” “3” “7” の順に選曲

3-1 10 キーで **5** を押します。

3-2 10 キーで **3** を押します。

3-3 10 キーで **7** を押します。



● **[TIME]** を押すと、プログラムの総演奏時間を表示させることができます。

● 同様の方法で、最大 25 曲までプログラムすることができます。

● 25 曲までセットしますと、自動的に P-01 に戻ります。

4 **PLAY** を押します。

この場合、曲番 5 からスタート。

● 演奏を終えた曲のミュージックカレンダーは消灯します。

● 演奏が終了しますと、自動的に P-01 に戻ります。

※ インデックスのプログラム演奏はできません。

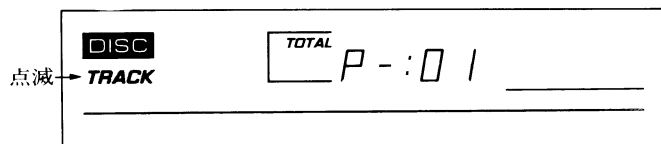
※ プログラムの総演奏時間が 99 分 59 秒を超えた場合、TOTAL と TOTAL REMAIN の時間表示はしません。

● **[SKIP]** (**⏮**、**⏭**) を押すと

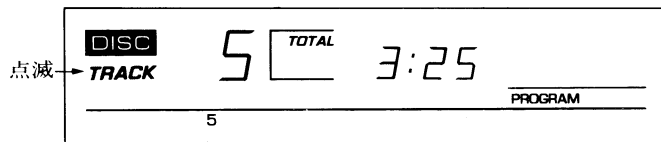
※ **⏭** …押すごとに次のプログラム曲の頭に移ります。

※ **⏮** …押すごとに前のプログラム曲の頭に移ります。

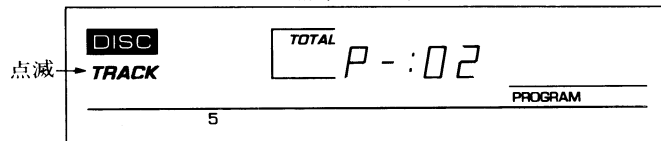
● プログラム演奏中に 10 キーで他の曲番を選ぶとプログラムは選んだ曲に変更され、その曲が終了すると次のプログラム演奏となります。



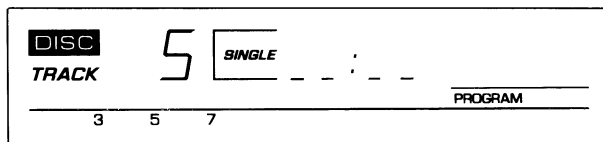
P-01 (プログラム 1) に曲番の入力待ち。



入力した曲番と総演奏時間を表示したあと、次のプログラムの入力待ちに変わります。また選曲された曲のミュージックカレンダーが点灯します。



“P-” インジケーターは、次のプログラム番号に変わり、P-02 に曲番の入力待ち。



プログラム NO 表示 (P-) が --:-- から 0:00 の時間表示に変わり演奏がスタートします。

## プログラムの変更・追加

1 **STOP** を押します。

2 **PROG** を押します。

※ デリートプログラムの場合は **[DELETE]** を押します。

プログラムの 1 (P-01) と曲番を表示。

3 **[SKIP]** (**⏮** または **⏭**) を押します。

変更したいプログラムをディスプレイに表示させます。

追加の場合は、最終のプログラム番号を表示させます。

4 10 キーで新しい曲を入力します。

変更の場合は、前のプログラムは消え、新しいプログラムに変更されます。

追加の場合は最後のプログラムに新しい曲番が設定されます。

※ テーププログラムを変更・追加するときは、テープ片面の録音時間をオーバーしても変更や追加は出来ませんが、オーバーした部分は録音されません。プログラムの総演奏時間には充分注意をしてください。

# いろいろな演奏-2

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。  
本取扱説明書では 12曲収録のディスクを例に説明しております。

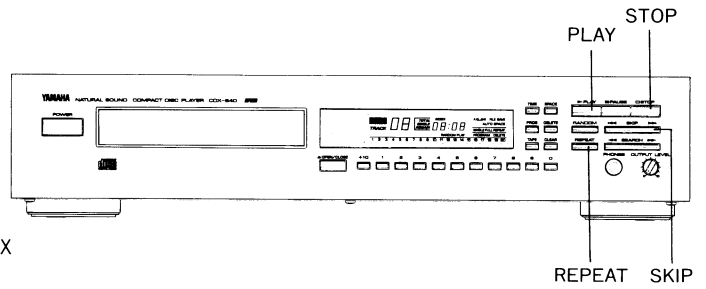
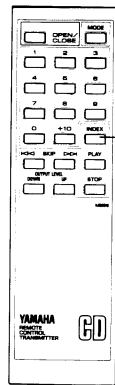
1 ディスクをセットします。  
(ディスクのセット参照)

2 演奏のメニューを選びます。

インデックスから聞きたいときは **F**  
(インデックス演奏)

繰り返して聞きたいときは **G**  
(シングル、フルリピート演奏)

指定した時間に聞きたいときは **H**  
(タイマー演奏)



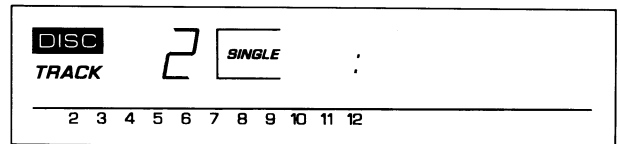
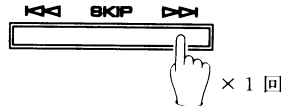
## **F** 好きなインデックスから聞きたいときは (インデックス演奏)

→例 曲番2のインデックス3から演奏を始めるときには

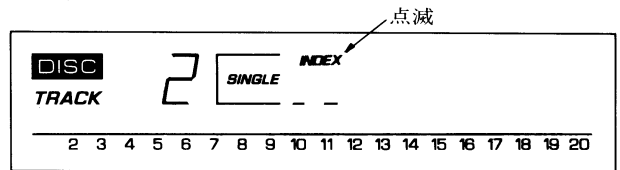
1 曲目			2 曲目			3 曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス3	インデックス1	インデックス2	インデックス3	インデックス1	インデックス2	インデックス3

-----> ここからスタート

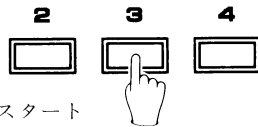
1 演奏したい曲を選びます。  
この場合は、[SKIP] (▶▶) を 1回押します。  
(10 キーの **2** でも選べます。)



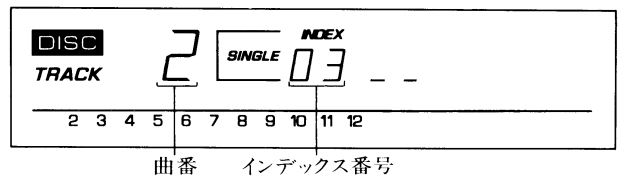
2 リモコンの **INDEX** を押します。



3 10 キーで **3** を押します。



曲番2のインデックス3から演奏がスタート



曲番2のインデックス3から演奏開始 スタート

※インデックス演奏は、指定した箇所の少し前から演奏することがあります

※インデックスの記録されていないディスクの場合は、インデックス1を表示し、指定された曲の頭から演奏を開始します。

※ディスクに記録されているインデックスより大きな数を指定した場合は、指定された曲の最後のインデックスから演奏を開始します。

### ■インデックスの指定モードの解除

[INDEX] か [PLAY] または [STOP] を押します。

“INDEX” 消灯。

## インデックスとは

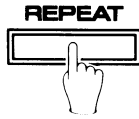
インデックス (クラシック曲の第何楽章など) が設定されているディスクの場合は、聞きたいインデックスのところから演奏をスタートさせることができます。

※インデックスが記録されているディスクには **(IN:DEX)** マークがディスクの解説書に記載されています。ディスクの解説書をお確かめください。

**G****繰り返して聞きたいときは (シングル、フルリピート演奏)**

1 **REPEAT** を押します。

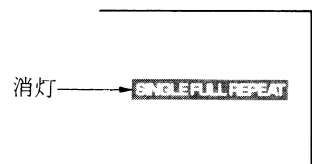
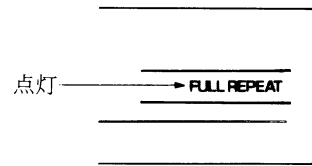
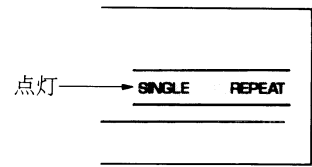
(REPEAT) を押すごとにリピートモードが変わります。



シングルリピート：指定した1曲を繰り返し演奏します。  
フルリピート：ディスクまたはプログラムの全曲を繰り返し演奏します。

※プログラム演奏やランダム演奏もリピート演奏することができます。

※リピートモードの指定は、演奏中または停止中でも指定できます。停止中に指定した場合は〔PLAY〕を押すかまたは10キーで曲番を指定します。

**■リピート演奏の解除**

REPEAT を押し、SINGLE REPEAT または FULL REPEAT インジケーターを消灯させます。  
また、シングルリピートはディスクトレイを開閉しても解除されます。

**H****指定した時間に聞きたいときは (タイマー演奏)**

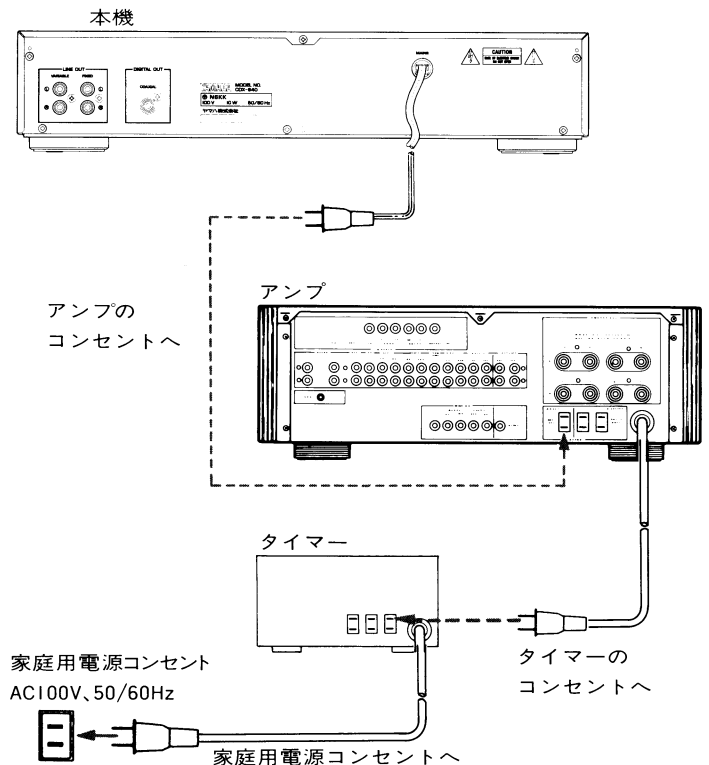
市販のオーディオタイマーと組み合わせると、セットした時間にCDの演奏を開始することができます。

**接続** 電源コードの接続を右の図の様にします。

**操作**

- 1 本機とアンプの電源をONにします。
- 2 ディスクをセットします。
- 3 演奏を開始して、アンプの音量を調整します。  
※ランダム演奏または、リピート演奏もできます。
- 4 **STOP** を押し、演奏を停止させます。  
※ランダム演奏のときは、〔STOP〕を押さずに5の操作にすすみます。
- 5 タイマーの設定をします。  
(演奏開始時間、終了時間を設定して、タイマーをONにします)  
このとき各機器の電源が切れたことを確認してください。  
※タイマーの設定のしかたはタイマーの取扱説明書をご参照ください。

以上でタイマーに設定された時間になれば、タイマー演奏を開始します。



# テープ録音 (テーププログラム)

リモコンで操作するときは、対応するキーでお使いください。  
本取扱説明書では 12曲収録のディスクを例に説明しております。

テープに録音する前に、録音ができるように各機器のセットをします。

1 ディスクをセットします。

2 **STOP** を押します。

3 **SPACE** を押します。  
(13 ページ、オートスペース参照)

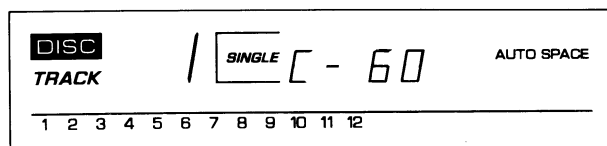
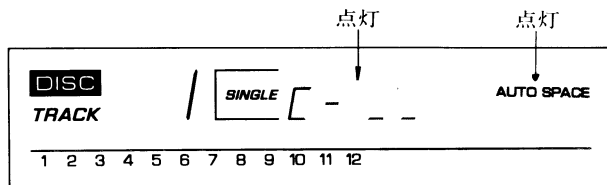
4 **TAPE** を押します。



5 10 キーでテープサイズ (テープの長さ) を入力します。  
例) C-60 のカセットテープの場合は 6、0 を押します。

テープサイズの入力が完了

※入力した半分の時間が片面の録音時間です。99分まで設定できます。



6 テープ録音のメニューを選びます。

曲順に関係なく自動選曲して録音したい時は **I**  
(テープランダムプログラム)

曲順を変えずに自動選曲録音したい時は **J**  
(テープオートプログラム)

自分で選曲して録音したい時は **K**  
(テープマニュアルプログラム)

## **I** 曲順に関係なく自動選曲して録音したい時は (テープランダムプログラム)

1 **RANDOM** を押します。



自動的に本機がディスクの曲を順不同にして、テープの片面時間に納まる曲の組合せで A 面、B 面にプログラムを行います。

2 デッキを操作してテープを A 面に録音開始すると同時に、本機の **PLAY** を押します。  
テーププログラム演奏がスタート。



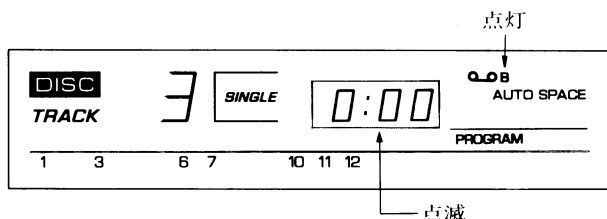
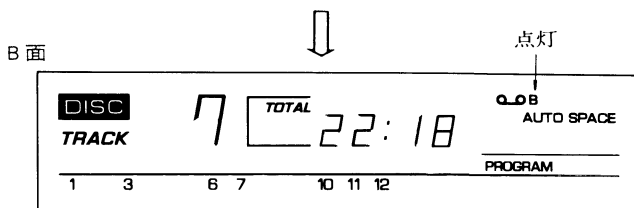
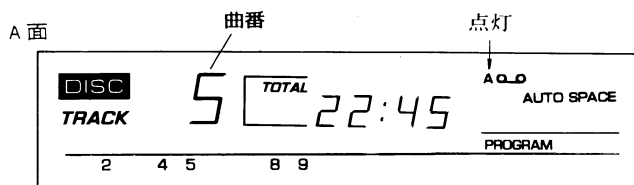
テープ A 面に録音する曲の演奏が終了すると本機はホーズ状態になります。

3 デッキを操作してテープ B 面に録音出来るようにし、本機の **PAUSE** か **PLAY** を押します。

テープ B 面に録音する残りのプログラム演奏がスタート。

※テープランダムプログラムでは

使用するテープの長さがディスクの総演奏時間に対して余裕が少ないときは、ランダムな組合せにより収録できない曲があることがあります。そのときは、**TAPE** と **RANDOM** を何度か押して、全曲が収録される組合せにしてから録音を開始してください。



## J 曲順を変えずに自動選曲録音したい時は (テープオートプログラム)

- 1 **DELETE** を押します。



本機がディスクの曲順を変えずにテープサイズに合わせてA面、B面に自動選曲します。

- 2 テープランダムプログラムの2、3と同じ操作で録音をおこないます。

## K 自分で選曲して録音したい時は (テープマニュアルプログラム)

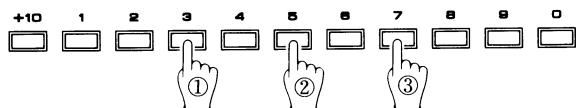
- 1 **PROG** を押します。



テープ片面の残り時間より、入力可能な曲が点滅し、入らない曲は消灯します。

- 2 テープA面に録音したい曲を10キーで選びます。

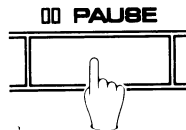
例) この場合は、3、5、7です。



曲番を押すごとにテープ片面の残り時間が約1秒間表示されます。

- 3 **PAUSE** を押します。

テープB面に切り換ります。



プログラムNO表示(P-)は1つ繰り上がります。

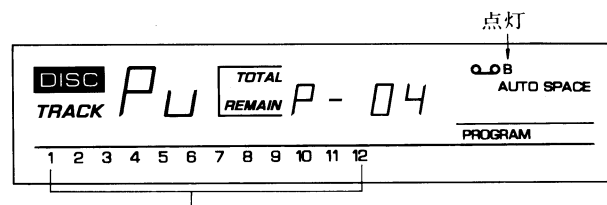
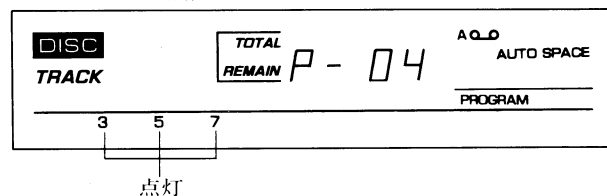
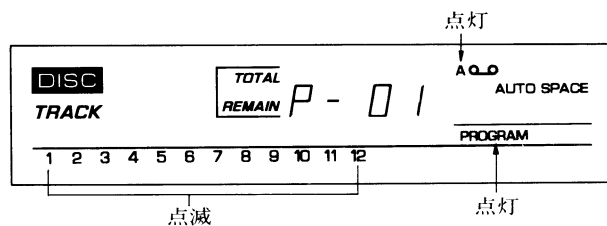
- 4 テープB面に録音したい曲を10キーで選びます。

- 5 **PROG** を押します。

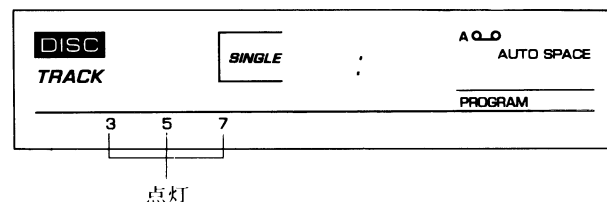
- 6 テープランダムプログラムの2、3と同じ操作で録音をおこないます。

※テープ片面の残り時間を超える曲番をインプットすると“Err”(エラー)表示をして受け付けません。残り時間内に納まる曲番を選んで再度インプットします。

※最大24曲までプログラムすることができます。



入力済みの曲番は点灯、まだ入力されていない曲番が点滅。



### テーププログラムの解除

- 1 **STOP** を押します。

- 2 **CLEAR** を押します。

“PROGRAM” ←消灯

### テーププログラムのチェック・変更・追加

8ページのプログラムのチェック・変更・追加参照。


## オートスペースについて

曲間が充分でないディスクの場合、そのままテープに録音しても、テープ演奏時にうまく選曲ができないことがあります。録音時に、**SPACE** を押して各曲間に約4秒間のスペースを挿入するとデッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。

曲間には約4秒間のスペースが挿入され、TOTAL TIME、TOTAL REMAIN TIMEはスペース時間を加えた時間表示に変わります。

※ディスクにもともと約4秒間の曲間がある場合や、テープの選曲再生をしない時は、オートスペースを入れる必要はありません。

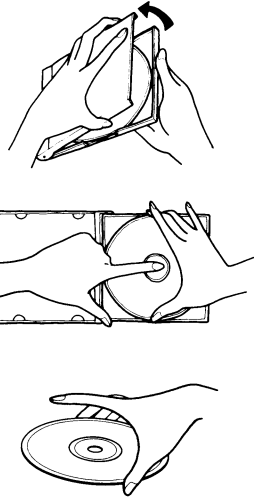
## ディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク（CD方式）専用のプレーヤーです。  
 マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

規格外のディスクはご使用にならないでください。  
 規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

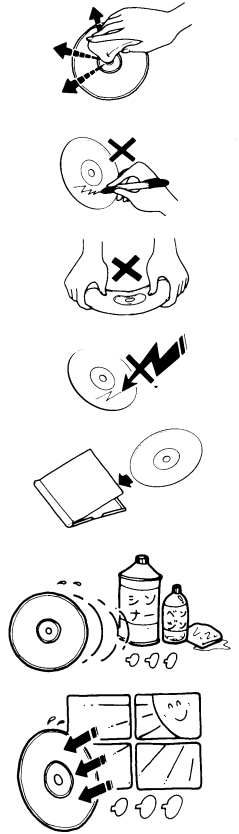
### ■ケースからの取だししかた

1. 右手でケースの両横側面をおさえ、左手で上下側面を持ってフタを開けます。
2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押え、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。
3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



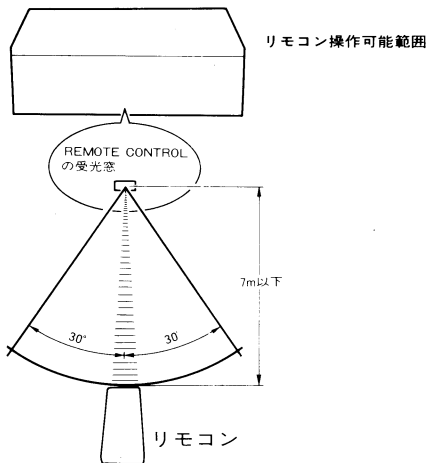
### ■取り扱いの注意

- ・信号記録面に指紋やほこりがつきまじたら、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音には影響ありません。
- ・レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンで文字を書かないでください。
- ・曲げたりしないでください。
- ・信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- ・演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- ・レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- ・直接日光が当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形する原因となりますので置かないでください。



## リモコンについて

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光窓の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。



付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作を起こすことがあります。リモコンによって誤動作をする機器があるときは、その機器の受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。ていねいに扱ってください

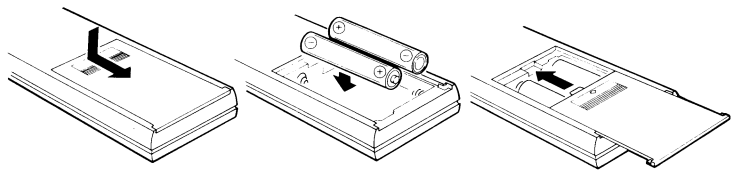
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

### ●電池交換のしかた

- 1 リモコンの裏のふたをはずします。
- 2 単4型（SUM-4）乾電池を2個、プラス（+）とマイナス（-）の向きをリモコンケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 3 電池をセットしましたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



### 電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

### ■乾電池についてのご注意

- ・単4乾電池をご使用ください。
- ・新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- ・種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・電池のプラス（+）とマイナス（-）を金属片で直接つなぐこと（ショート）はしないでください。
- ・長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

# 故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が振動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
テープマニュアルプログラムをしたがカセットテープにうまくダビングできない	テープサイズのインプットが間違っている	使用するテープのサイズを10キーで正しくインプットし直してください
テープオートプログラムをすると“Err”表示が出る	テープ収録時間が短くプログラムできないため	長時間録音のできるテープに替えてください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください
	本機を設置している場所の照明が明るすぎる 受光部に強い光が当たっている	照明を消すか、暗くしてからキーを押してください

## 参考仕様

■形式	コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム
■オーディオ特性	
周波数特性	2 Hz～20 KHz +0.5 dB, -1.0 dB
ディエンファシス偏差	±0.5 dB
高調波歪率+雑音 (1 KHz)	0.0028%以下
S/N 比	106 dB (EIAJ)
ダイナミックレンジ	100 dB
ワウ・フラッター	測定検知限以下
出力電圧 (1 KHz 0 dB : FIXED, VARIABLE)	2 V
出力インピーダンス	1.0 KΩ
ヘッドホン出力電圧 (150 Ω 負荷、-20 dB)	306 mV
■方式	
光ピックアップ	3 ビームレーザー
エラー訂正方式	CIRC 2 重エラー訂正方式
D/A 変換	1bit DAC
フィルター	デジタルフィルター (8 fs 18 bit, ノイズシェーパー付)

■機能	
頭出し	SKIP (◀▶, ▶▶) による順次頭出し
インデックスサーチ	INDEX、10 キーによる指定
音出しサーチ (演奏時)	SEARCH (◀▶, ▶▶) によるサーチ 2 段階スピード自動切換 PAUSE を 1 回押す
ポーズ	STOP を押す
ストップ	TIME を押す
総演奏時間表示	TIME を押す
演奏残り時間表示	MANUAL PROGRAM (25 曲) TEAPE PROGRAM (24 曲、3 種類) PROGRAM TOTAL PLAY TIME DISPLAY FUNCTION
プログラム機能	1 曲、全曲またはプログラム全部のリピート 電源 ON で演奏開始 (ランダム演奏、リピート演奏可能)
リピート	
タイマープレイ	
■総合	
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	10 W
外形寸法 (W×H×D)	435×92.5×271 mm
重量	4.7 Kg
付属品	出力コード リモコンユニット 単 4 乾電池 (SUM-4) × 2

\*仕様および外観は改良のため予告なく変更をすることがあります。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## ●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## ●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

## ●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

## ●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## ■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

（ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預かり窓口）

北海道	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50ヤマハセンター内	TEL (011) 513-5036
仙台	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
東京	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル	TEL (03) 255-2241
首都圏	〒211	川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434-3100
新潟	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F	TEL (025) 243-4321
松本	〒390	松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F	TEL (0263) 32-5930
浜松	〒435	浜松市上西町911 番地 ヤマハ宮竹工場内	TEL (0534) 65-6711
名古屋	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2ヤマハ名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
京都	〒600	京都市下京区七条通間之町東入材木町483第2マスイビル	TEL (075) 361-6470
大阪	〒565	吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内	TEL (06) 877-5262
神戸	〒650	神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内	TEL (078) 321-1195
四国	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内	TEL (0878) 22-3045
広島	〒731-01	広島市安佐南区西原2丁目27-39	TEL (082) 874-3787
九州	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134

## ■お客様ご相談窓口

（ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口）

北海道	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	北海道営業所	TEL (011) 512-6115
仙台	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F	東北営業所	TEL (022) 222-6080
東京	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F	首都圏営業所	TEL (03) 255-5691
			神田営業所	TEL (03) 255-6767
新潟	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル	関東営業所	TEL (025) 241-2084
神奈川	〒211	川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内	神奈川営業所	TEL (044) 434-4871
浜松	〒433	浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内	浜松営業所	TEL (0534) 71-1207
名古屋	〒464	名古屋市中区千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内	中部営業所	TEL (052) 782-7551
大阪	〒556	大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内	関西営業所	TEL (06) 647-6411
			中央営業所	TEL (06) 647-6411
広島	〒730	広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内	中国営業所	TEL (082) 244-3745
九州	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	九州営業所	TEL (092) 472-2131
本社	〒430	浜松市中沢町10-1	AV機器事業部 お客様ご相談センター	TEL (0534) 60-3409

## ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

### AV機器事業部

営業部 TEL (0534) 60-3451  
品質保証室 TEL (0534) 60-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。